

君津まちづくりプロジェクト
～ 公共施設の未来を考える ～

提案書

令和2年6月

プロジェクト参加者一同

目 次

1. 君津まちづくりプロジェクト実施概要	2
2. 君津市の公共施設	5
3. 君津まちづくりプロジェクトからの 16 の提案	7
(1) 「公共施設の再編」に関する 7 つの提案	10
(2) 「公共施設の管理運営」に関する 9 つの提案	19
4. 公共施設以外に関する 3 つの課題	32

1. 君津まちづくりプロジェクト実施概要

(1) テーマ

「公共施設の未来を考える」

(2) 参加者

■プロジェクトメンバー

住民基本台帳から無作為に選ばれた 3,000 人の中から応募のあった 104 名の市民

■オブザーバー

平成 29 年度から平成 30 年度にかけて開催された清和地区における公共施設の利活用案を考える清和地区公共施設ワークショップに参加した 34 人の中から応募のあった 13 名の市民

■コーディネーター（議論の進行役）

伊藤 伸（構想日本総括ディレクター）

石井 聡（逗子市市民協働部次長）

石渡 秀朗（構想日本特別研究員）

※各会場順

■専門委員（外部有識者） ～ 公共施設の課題整理（施設レビュー）のみ参加 ～

赤井 伸郎（大阪大学大学院国際公共政策研究科教授）

川澤 良子（Social Policy Lab 株式会社代表取締役）

長島 寛人（弁護士）

松野 英男（浜松市エネルギー政策課主幹）

熊井 成和（館山市健康福祉部長）

塚本 恵（キャタピラー・ジャパン合同会社代表執行役員）

山中 光茂（しろひげ在宅診療所院長・元松阪市長）

石田 恵美（日比谷見附法律事務所弁護士・公認会計士）

後藤 宏之（構想日本プロジェクトリーダー）

藤城 眞（会社員）

吉川 清志（習志野市資産管理課副主査）

相澤 祐子（日本放送協会国際放送局 WorldNews 部・記者）

永由 裕大（構想日本プロジェクトリーダー）

三宅 香織（倉敷市教育委員会学校教育部副参事）

※各会場 50 音順

(3) 開催日及び内容

■ 公共施設の課題整理（施設レビュー）

～ 2020年1月11日（土）、1月12日（日）～

<全体会>

君津市より公共施設の全体像について説明がありました。

<分科会（2班に分かれて議論を行いました）>

君津市が管理する公共施設のうち、多くの市民等が利用する12の施設区分における現状とその課題について、君津市担当課職員、コーディネーター、専門委員にて議論を行い、それを聞いた私たちが「①施設の総量・配置、②施設の有効活用、③施設の管理、④施設の実施事業」の4つの視点で評価を実施しました。また、今後さらなる議論が必要と感じた論点について施設評価シートに記入しました。

対象とされた12の施設区分は、以下のとおりです。

- | | |
|------------------------|----------------|
| ・スポーツ・公園施設（13施設） | ・文化ホール（1施設） |
| ・資料館（2施設） | ・市営住宅（9施設） |
| ・産業・観光施設（13施設） | ・保健・福祉施設（10施設） |
| ・公民館等（11施設） | ・行政施設（6施設） |
| ・図書館（7施設） | ・コミュニティ施設（5施設） |
| ・保育園（13施設） | |
| ・子育て支援施設、放課後児童クラブ（4施設） | 全94施設 |

■ 第1回住民協議会 ～ 2020年2月11日（火・祝）～

<全体会>

公共施設の課題整理（施設レビュー）の結果について全体共有を行い、それぞれの分科会における議論テーマが、発表されました。

各班における議論テーマは、以下のとおりです。

- ・（1班）「“市民のため”を最優先した施設の管理運営とは？」
～施設が活きる管理運営の方法を考えてみよう！～
- ・（2班）「“どんな機能”を“どんな規模感”で配置させるか？」
～“あると良い”でなく、“なければならぬ”の視点で考えてみよう！～
- ・（3班）「それは“いくつ必要”か？それぞれの地域に必要か？」
君津市に1つが良いか？それとも2つ？」
～“適正数”を考えてみよう！～

＜分科会（3班に分かれて議論を行いました）＞

それぞれの議論テーマに対し、私たちが普段の生活の中で感じることやこれまでの経験などを踏まえて解決に向けた議論を行いました。なお、「個人としてできること、地域としてできること、行政の役割」に整理しながら議論を進めていきました。議論した内容や感じたことを改善提案シートに記入しました。

■第2回住民協議会（報告会） ～ 2020年6月20日（土） ～

＜全体会＞

新型コロナウイルスの影響を受け、当初3月に開催を予定していた第2回住民協議会は6月20日に延期となりました。

当日は、これまでの議論やプロジェクトメンバー及びオブザーバーが記入したシート等をもとに作成した提案書についての説明や、プロジェクトメンバー及びオブザーバーからの「君津まちづくりプロジェクト」に参加しての感想、また君津市長、コーディネーターからも総括的なコメントをいただきました。

2. 君津市の公共施設

1. (3)に記載した「対象とされた12の施設区分」ごとの一覧(私たち『君津まちづくりプロジェクト』がテーマとした君津市の公共施設)は次のとおりです。

■公共施設一覧(施設類型・区分・施設名等)

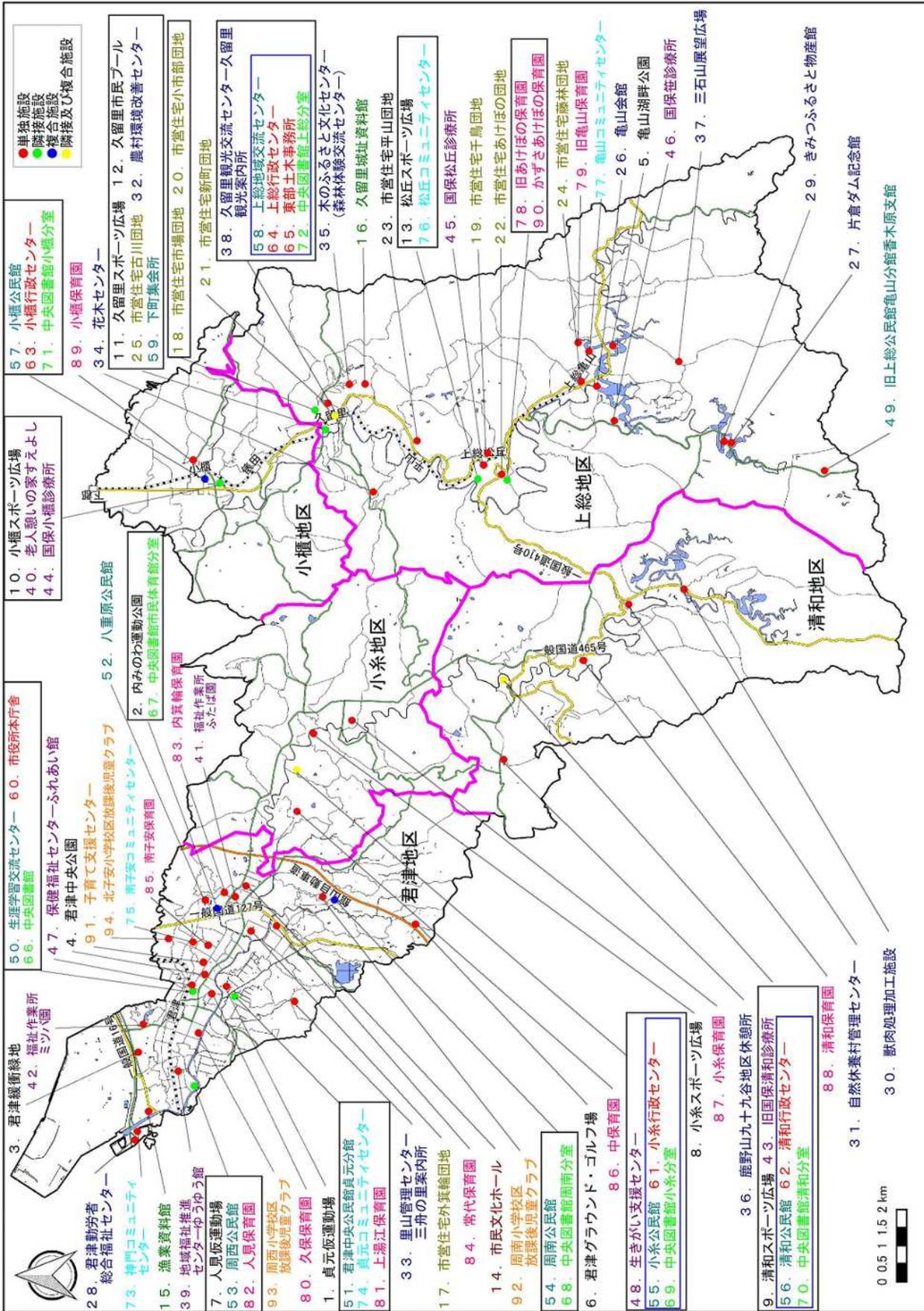
(平成31年3月31日現在)

施設類型	区分	施設名					施設数合計
		君津地区	小系地区	清和地区	小櫃地区	上総地区	
業務施設	行政施設	市役所本庁舎	小系行政センター	清和行政センター	小櫃行政センター	上総行政センター	6
	保健・福祉施設	地域福祉推進センター・ゆうゆう館 福祉作業所ふたば園 福祉作業所ミツハ園 保健福祉センターふれあい館	生きがい支援センター	旧国保清和診療所(※1)	老人憩いの家すえよし 国保小櫃診療所	国保松丘診療所 国保世診療所	10
児童施設	保育園	久保保育園 上流上保育園 人見保育園 内野橋保育園 常代保育園 南子安保育園	中保保育園 小系保育園	清和保育園	小櫃保育園	旧あけほの保育園 旧亀山保育園 かすさあけほの保育園	13
	子育て支援施設	子育て支援センター					1
住宅施設	放課後児童クラブ	周南小学校区放課後児童クラブ 鳳西小学校区放課後児童クラブ 北子安小学校区放課後児童クラブ					3
	市営住宅	市営住宅外算轉団地				市営住宅市場団地 市営住宅十高団地 市営住宅小市部団地 市営住宅新田団地 市営住宅あけほの団地 市営住宅平山団地 市営住宅藤林団地 市営住宅若川団地	9
産業・観光施設	産業・観光施設	君津勤労者総合福祉センター 里山管理センター三舟の里案内所		新内処理加工施設 鹿野山九十九谷地区体験所 自然体験学習管理センター		亀山会館 片倉ダム記念館 きみつふるさと物産館 花木センター 久留里観光交流センター・久留里観光案内所 木のふるさと文化センター(森林体験交流センター) 三山展望広場 豊村環境遊覧センター	13
	公民館等	生涯学習交流センター 君津中央公民館員元分館 八重原公民館 周西公民館 周南公民館 漁業資料館 市民文化ホール	小系公民館	清和公民館	小櫃公民館	上総地域交流センター 旧上総公民館亀山分館香木原支館(※2) 下町集会所	11
図書館	資料館	漁業資料館					2
	文化ホール	市民文化ホール					1
コミュニティ施設	図書館	中央図書館 中央図書館市民体育館分室 中央図書館周南分室	中央図書館小系分室	中央図書館清和分室	中央図書館小櫃分室	中央図書館上総分室	7
	コミュニティ施設	神門コミュニティセンター 員元コミュニティセンター 南子安コミュニティセンター 君津グラウンド・ゴルフ場 人見運動場 南子安運動場 若津緑地 若津中央公園 内みのわ運動公園	小系スポーツ広場	清和スポーツ広場	小櫃スポーツ広場	松丘コミュニティセンター 亀山コミュニティセンター 久留里スポーツ広場 久留里市民プール 松丘スポーツ広場 亀山湖畔公園	5
スポーツ・公園施設	スポーツ・公園施設	小系スポーツ広場	清和スポーツ広場	小櫃スポーツ広場	小櫃スポーツ広場	13	
施設数合計						37	94

※1 清和診療所は、令和元年度から民間運営

※2 上総公民館亀山分館香木原支館は、公民館としては用途廃止済

■ 公共施設の位置図



3. 君津まちづくりプロジェクトからの 16 の提案

以下の 16 の提案は、私たちプロジェクトメンバー及びオブザーバーがこれまでの議論やシートに記入した内容を中心にまとめたものです。

(1) 「公共施設の再編」に関する 7 つの提案

I. 「将来を見据えた」施設配置を考える

提案

1. 20～30年後を見据え、バス等の移動手段を活用するなどして学校区や地区に縛られない視点で施設配置を考え、暮らしやすい君津市を作っていく

II. 「事業内容から」施設配置を見直す

提案

2. 「実施できる場所・施設で事業を行う」観点で事業を見直し、施設の有効活用・再配置を検討する

提案

3. 県や民間の施設、または民間のサービスを活用するなど、既存施設を継続する以外の方法を検討する

III. 「利用実態から」施設配置を見直す

提案

4. 同じような目的で使われている施設は、利用実態を踏まえ上手くまとめていき、施設の利用率をより高めていく

IV. 地域単位で必要となる施設を考える

提案

5. 地域単位で「あると良い」ではなく「なければならない」という視点で施設の再配置を検討する

V. 再配置によるサービスの維持と向上

提案

6. 再配置により施設数を減らすなかでも、公共サービスの維持・向上を図っていく

VI. 「防災拠点」機能の整備

提案

7. 日常的に利用する施設に防災拠点機能の整備を検討する

(2) 「公共施設の管理運営」に関する9つの提案

I. 「経費削減」とともに「収益増」の仕組みづくり

提案

8. 利用料が無料の施設を出来る限りなくしたり、子どもたちの育成を最優先する視点での減免対象団体基準の見直しなど、受益者負担の適正化を市役所横断的に進める

提案

9. 利用料の見直し以外にも、収入を増やす仕組みを考える

提案

10. 借地の見直し（単価の見直しや買取りなど）や無償貸付施設の見直し（譲渡や有償貸付など）について検討を行う

II. 「施設管理運営体制」の見直し

提案

11. 指定管理者制度の本来の効果が発揮できるように工夫する。それに馴染まない施設は、指定管理から委託に切り替えることも検討する

提案

12. 利用実態をしっかりと把握した上で、利用状況や施設の魅力の有無などで分類し対策を行う

提案

13. 主たるターゲットを最優先に考えた施設運営を考える（公園の主たるターゲットである子どもたちがさらに気軽に遊べる場所を増やしたり、ボールを使いやすくするなど）

III. 「担当課」の見直し

提案

14. 類似施設の担当課が異なっていることによって非効率になっていたり、管理運営にかかる人件費の比率が高くなっている現状を変えるために仕組みを見直す

IV. 「利用予約」の利便性向上

提案

15. ウェブ予約など施設を使いやすくするための工夫を行う

V. 「積極的なPRの推進」

提案

16. 市外へのPRも重要だが、市民に対しての情報発信にも力を入れる

(1) 「公共施設の再編」に関する7つの提案

提案

1. 20～30年後を見据え、バス等の移動手段を活用するなどして学校区や地区に縛られない視点で施設配置を考え、暮らしやすい君津市を作っていく

【提案内容】

日本全体で人口が減少する中で、君津市も30年後には今よりも2万人以上の人口減が想定されており、地域の年齢構成も変化する。それに伴い、施設の利用者数や利用方法も変わってくる。「30年後も暮らしやすい君津市」を、人口動態や施設の利用需要を踏まえ検討する必要がある。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般（交通）	・市民の移動手段の確保が課題なので、区内や他の地区、市街地を回るバスやオンデマンドタクシーなどを走らせる。
	資料館	・資料はデジタル化し、インターネットで公開。見学した際もパソコン等で見られるようにする。
	保健・福祉施設	・保健・福祉施設は、将来の人口動態を見据え、誰が何のために使うのかを明確にして、施設配置を考える必要がある。

「提案1」の実現に向けて、私たちができること

私たち 市民

- ① 君津市でどのような暮らしをしたいのかを考える。
- ② 近隣の公共施設の必要性を住民で議論する。(施設の稼働率、利用状況、将来性を考えて集約していくことの必要性や、仮に集約が決まった場合の住民への説明で、内容を理解できるようにする。)
- ③ 公共施設で行われるイベントのサポートをする。

《提案1に関するその他の意見》

- ・これまで地域の枠を超えた学校の統廃合がなされており、この学校に通う子どもたちが大人になっていく20～30年後を考えると、旧町村単位といった地域を踏まえた施設配置にこだわる必要はないと思う。
- ・誰だって残せるものは残したいと思う。しかし先の事を考えると不可能だし、結果、誰のためにもならない。
- ・交通の便が昔よりもよくなっているので、不要な公共施設があるのでないか。

2. 「実施できる場所・施設で事業を行う」観点で事業を見直し、施設の有効活用・再配置を検討する

【提案内容】

住民サービスを実施するにあたり、決められた用途のみに施設を活用していることが多く、その結果、利用率の低い施設が多くあることがわかった。ハコモノに依存する事業とそうでない事業を整理し、資料館機能もしくは資料を中央図書館などに移転するなど、施設の有効活用や再配置を検討する必要がある。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（案）
行政	資料館	<ul style="list-style-type: none"> 資料館機能を公民館や図書館の一室に移動する。 資料館の収蔵資料を空き小中学校に移して展示をする。 資料をインターネットで閲覧可能にし、施設自体を廃止。
	子どもの遊び場	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の校庭を利用する。 廃校の体育館を再利用する。 公民館や自治会館に児童館・プレイパーク機能を整備する。
	東部土木事務所	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会を窓口として、問題個所をマップ化する（事務所の廃止）。
	保健・福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> 診療所というハコモノが無くなる不安で継続を求めるより、移動式医療や遠隔医療など、「確実に受診できる」システムづくりに費用をかける。
	公民館等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自治会館やコミュニティセンターを利用すれば分館は不要。 学校の空き教室も増えるので、学校と複合化する。 今後、空き家も増えるので、有効活用する。
	行政施設	<ul style="list-style-type: none"> 行政センターとしてのハコは不要。 農協などの各地域の施設を間借りして使う。 独立してプレハブ程度のものにする。

主体	施設区分名等	具体的な方策（案）
行政	図書館	・分室の機能について、移動図書館やインターネット予約、学校の図書館の開放などで代替できないかを検討する。
	コミュニティ施設	・コミュニティセンターと公民館で取り組んでいる事業は、ほとんど重複しているの見直しを行う。 ・地域住民の交流やサークル活動で自治会館を利用する。

「提案2」の実現に向けて、私たちができること

私たち 市民

- ① 私たちに必要な事業があれば提案・要望し、実施場所も行政と相談する。

《提案2に関するその他の意見》

- ・コミュニティセンターや公民館の取組みや行事の見直しは、統合や廃止を前提とするのではなく、施設の役割の見直しと一緒にすることが必要である。

提案

3. 県や民間の施設、または民間のサービスを活用するなど、既存施設を継続する以外の方法を検討する

【提案内容】

県や民間の施設、市外の施設と機能が重複している市所有の施設がある場合や、民間が行う事業で代替できるものがある場合は、現在の利用状況や将来の動向を踏まえ、市が公共施設を保有せずとも公共サービスを維持する仕組みに変えていく。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般	・施設の利用者にアンケート調査を行う。（市営住宅に住んでいる人へのアンケート等）

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	市営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・県営住宅への転居、民間施設への転居、引っ越し・家賃補助、仮設住宅建設など、大規模改修や建替え以外の方法を考える。 ・人数割れしているところは、集約していく。
	産業・観光施設	<ul style="list-style-type: none"> ・きみつふるさと物産館は、他の道の駅に比べると魅力がないので、君津らしさ、ワクワク感が出るように民間への譲渡などを検討する。
	保健・福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所は直営ではなく、民間を活用した効率的な運用を行う。 ・福祉作業所は、サービス水準を上げることを目的とした民設民営を推進できる場合、公共施設は廃止を目指す。
	行政施設	<ul style="list-style-type: none"> ・電子申請の導入などIT化や民間委託を進めることで、施設を統廃合していく。
	図書館（分室）	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の分室を地域住民が運営することで活性化し、利用者が増やしていく。
	子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> ・他部署と連携（保育所、病院など）し、事業内容を充実させることで、子育て支援センターの廃止を検討する。

「提案3」の実現に向けて、私たちができること

私たち 市民

- ① 君津市の取組みで市民も協力できることは協力していく（例：独居老人が多いと思うので、見守り隊のような心がけをする）。
- ② 個人番号カードを利用して近くのコンビニで証明書を受け取るなど、市の施設に行かなくてもできる手続きがあることを知り、積極的に利用する。

《提案3に関するその他の意見》

- ・各地区に必要だが、市だけで全てを補うのではなく、民営への移行を検討し、民間活力を利用することで地域に必要とされる診療所に変えていく。
- ・民間の施設に多くを期待しないほうが良いのではないか。民間が利益を出し得意とする分野と行政のほうが適する分野を考える必要がある（医療・福祉分野は行政など）。
- ・昔は市民でグループを作り、子育てをしていた。遊び場の情報誌を使っている団体もあった。なんでも揃っているより、自分たちで作る力をつけるという方向性があったらよいのではなか。

4. 同じような目的で使われている施設は、利用実態を踏まえ上手くまとめていき、施設の利用率をより高めていく

【提案内容】

コミュニティセンター・公民館・自治会が所有する施設（自治会館、青年館等）や、公園・スポーツ広場・学校の校庭など、似たような使われ方をしている施設がある。地域の行事やサークル活動、それらの参加人数など利用状況を調査し、施設の利用率を上げるために、施設の空いている時間帯や場所を調整し、施設の統合や転用を検討する。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般（集約・統合）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流やサークル活動を地域の自治会館で行えないかを検討する。（サークル活動者の減少など将来の活用状況の変化を含めて検討する） ・各自治会館も老朽化しているので、自治会が所有する施設も公民館やコミュニティセンターと一緒に議論する必要がある。 ・施設利用している人と利用していない人両方に、施設の必要性についてアンケート調査を行う。
	スポーツ・公園施設	<ul style="list-style-type: none"> ・利用率が少ない施設は廃止する。 ・集約し、安全を重視した公園を各地区に造る。 ・スポーツ広場をキャンプ場などの観光スポットや、野球場をサッカー場にするなど用途変更の検討も行う。
	図書館（分室）	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館に集中させる。 ・利用率の低い分室は、統廃合を検討する。

「提案4」の実現に向けて、私たちができること

私たち
市民

- ① 市が所有する公共施設以外で同じような利用ができる地域所有の施設や民間の施設を利用し、使い勝手を知る（公民館ではなく、自治会館を利用する等）。

《提案4に関するその他の意見》

- ・公園や子どもの遊び場の適正数や適正面積などの検討をする機会が必要だと思う。
- ・同じような役割のものはうまくまとめていけるようにならないと、これだけ広い市で人が減り始めているので、危機感をとても感じる。
- ・利用が少ないという理由だけで廃止するべきではない。
- ・中央図書館と分室の利用の差が激しい。しかし、中央図書館までは距離がある。子どものためにも各地域に大きな場所が必要ではないか。
- ・君津地区は、バスなど移動手段が充実していて、かつ公民館、図書館などの貸館もたくさんあるので、施設数を減らすことは考えられないか。

5. 地域単位で「あると良い」ではなく「なければならない」という視点で施設の再配置を検討する

【提案内容】

君津市内5地域ごとに住む人の特性や風土、交通の利便性なども異なるため、「各地域単位になければならない施設は何か」という視点で地域住民と協議を重ね、施設の今後の在り方を検討する必要がある。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む人の家族構成等を把握し、必要とする施設数から施設を再配置する。 ・地域の要望を聞く機会を設定(各地区代表者とのヒアリングなど)し、地域の理解を得る。

「提案5」の実現に向けて、私たちができること

私たち
市民

- ① 地域住民がもっと利用するように、ボランティアで施設の手入れをする。

《提案5に関するその他の意見》

- ・市内5地域で特徴にそれほど差があるか疑問。
- ・各地域によって人口の減少度合いが違う。特に人口が減っている地区を優先して交通の便の悪さ、働き口の少なさを解消する必要があるのではないか。
- ・人口が少ない地区にも人が住んでいる。高齢者も多いため、利用が少ないという理由で行政施設を廃止すべきではないのではないか。

6. 再配置により施設数を減らすなかでも、公共サービスの維持・向上を図っていく

【提案内容】

施設が減ることで、住民が受ける公共サービスが低下してはいけない。身近な施設（利用者が多い施設、隣接する施設など）にサービスを移したり、コミュニティバスなどの移動手段を確保するなどの取組みを含めて検討する必要がある。また、単に施設を減らすのではなく①運営にかかるコスト（施設管理費や人件費など）を減らしたり、②多世代交流の場や機会を増やしていくなど、公共サービスのさらなる質の向上を図っていく。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接した場所にある施設を統合する。 ・集約した施設には、その分、サービスを充実させるための整備を手厚くかける。 ・学校を開放し、学童に行かなくても遊べる場所ができれば安心。
	全般（統合）	<ul style="list-style-type: none"> ・行政センター、公民館等、コミュニティ施設、図書館（分室）は、各地区で1つの施設に複合化する。 ・複合化する際は、統廃合で空いた校舎の活用を検討する。
	資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、利用者が少なく収支のバランスが悪いため、文化ホールや中央公民館との複合化を検討する。 ・資料を学校の空き教室に移管して展示することで、収蔵の環境を良くし、利便性の向上を図る。
	公民館等	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の家以外で遊ぶ場所となると公民館。周りの田んぼをうまく整備し、子どもが自由に遊べるような複合施設になればいい。 ・廃校も含めて学校が公民館機能を持つ（子どもにとっても活用がしやすくなるのではないか）。 ・学校と複合化することで、若者と老人のコミュニケーションを活発にする。
	行政施設	<ul style="list-style-type: none"> ・行政センターだけのハコは不要。農協など、各地域の施設を間借りして使うことを検討する。 ・公民館と併設であっても、窓口の一本化を検討する（スペースの共有は可能ではないか）。

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	保健・福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所と老人憩いの家すえよしの統合を検討する。 ・高齢者と子どもが一緒に過ごせる施設があると防犯対策やコスト減につながる。
	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に併設させ、利便性を高める。 ・小中学校の蔵書と一緒に管理することを検討する。
	保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と公民館を複合化する。災害時、避難所となれば子どもを連れて安心して避難できる（初めから子どもに必要なものが揃っている）。

「提案6」の実現に向けて、私たちができること

私たち 市民

- ① 施設の必要性や、どの施設をまとめることができるのかを考える。
- ② 施設の維持管理に協力する（史跡の手入れを行う、施設の草刈など）。
- ③ 施設を積極的に利用する（資料館で地域の伝承等を調べてまとめる）。
- ④ 住民が利用しやすい様に交通網を整備するよう行政に願う。
- ⑤ 定年退職した人でまだ働ける人たちが活動できる場や機会をつくる。
- ⑥ 子どもから高齢者まで協働する場所をつくる。

《提案6に関するその他の意見》

- ・行政センターを集約化し、土日夜間の時間延長、マイクロバスの運行等を実施できないか。

7. 日常的に利用する施設に防災拠点機能の整備を検討する

【提案内容】

災害時に頼りになるのは、我々住民が普段よく利用する施設である。各地域単位で、(公共施設に限らず)住民になじみがある施設に、防災拠点機能の整備を検討する必要がある。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	廃校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の災害拠点にする。 ・普段は、住民が維持管理を担う。その際、フリーマーケットを実施するなど、利益を生みながら日常生活に絡めた運営を行う。
	スポーツ・公園施設	<ul style="list-style-type: none"> ・広場は、災害時に一時避難場所として活用できる。広場を普段から子どもやお年寄りが楽しめる場所として活用する。
	公民館等	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合を検討する場合は、災害時の避難所機能を備えた施設に改修する必要がある。

「提案7」の実現に向けて、私たちができること

私たち 市民

- ① 避難訓練等を行い、備品の使い方や備蓄品の管理などは住民主体で行う（行政が来られないこともある＝市職員も被災者である）。
- ② 行政に助けをもらうという「公助」に頼る防災意識を改め、自主防災組織の立ち上げや自主的に備蓄するなど「自助・共助」による災害対策を行っていく。

《提案7に関するその他の意見》

- ・災害のためだけに施設を置くのではなく、日頃の生活に絡めるほか、旅行者が普段遊びに来るような施設を拠点としてはどうか（平時は、グラウンドをキャンプ場、校舎を宿泊施設にするなど整備して観光客を取り込み、災害時は市民の防災拠点にする）。
- ・歩いて避難できる場所や、収容人数等も考え、廃校など公共施設に限らず利用できるようにする。

(2) 「公共施設の管理運営」に関する9つの提案

提案

8. 利用料が無料の施設を出来る限りなくしたり、子どもたちの育成を最優先する視点での減免対象団体基準の見直しなど、受益者負担の適正化を市役所横断的に進める

【提案内容】

「子どもたちが住み続けたい、戻ってきたいと思えるような公共施設であってほしい」との意見が多く出た。それを実現するためには、将来に負担を残すことのないような運営は必須であるので、まずは受益者負担の適正化が必要である。具体的には、利用料が無料の施設を出来る限りなくすことを原則とした利用料基準の見直しや利用料の減免対象団体の基準を、子どもたちの育成を最優先する視点での見直しなどが考えられる（利用状況の少ない施設は、廃止も含めて検討する）。なお、これらは施設担当課ごとではなく市役所全体で連携し、事務の効率化を図りながら見直していく必要がある。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般 (利用料基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来の子どもたちのことを思えば、少しくらいのお金を払っても良いと思うので、利用料が無料の施設は出来る限りなくすことが望ましい（まずは予約が必要な施設の徴収からできないだろうか）。 ・ 維持管理費に見合った利用料金の設定が必要。 ・ 施設利用料のほか別途「空調利用料」や「トイレ利用料」を徴収することも考えられる。 ・ 市民、市外の利用料金の差を更に設けることが望ましい（特に市外からの収益源となるキャンプ場施設などは重点的に）。 ・ 施設の広さや利用頻度に応じた利用料金の設定の検討。 ・ 利用料基準を見直す上で、すべての施設を存続させる前提でなく、利用状況が少ない施設は廃止も含めた検討が必要。 ・ 「本当に利用料を徴収すべき施設であるか」の視点で各施設を調査点検し、その結果を基に利用料基準や廃止基準を定めていく（施設利用者に対し、利用料の徴収についてアンケートを実施してはどうか）。 ・ 施設担当課が異なることによって、利用料の差が生じてしまうのはおかしいので、市役所全体で検討していくことが必要。

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般 (利用料基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・無人施設の利用料徴収方法として「キャッシュレス決済」を導入することを検討する（「キャッシュレス決済は割引」「オンライン予約とセット」等も考えられる）。 ・利用料を徴収する施設は、優先して整備を行う（掃除や除草などはボランティアを募る。利用者自身に協力依頼しても良い）。
	全般 (減免対象団体基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・減免対象を「子どもたちを育成する団体」かつ「大人の社会教育に関する団体」にすると、現状と変わらなくなるので、子どもたちを優先する。 ・すべての施設で大人は利用料金徴収を検討する（特に土日は有料でも利用されるのでは）。
	文化ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車料金は 100 円でも良いので徴収した方が良い。
	資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・入場料を徴収すべき。
	公民館等	<ul style="list-style-type: none"> ・市外利用者から料金を取ることを検討する。
	子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> ・運営経費を一部負担してもらうため、利用料の徴収が望ましい。
	放課後児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用料が高いことによって、子どもを本当に預けたい人が預けられていない状態が生じていないかの確認が必要（そのような人がいるなら利用料金の見直しに向けた制度改正も含めて検討する）。 ・学校施設を利用しているクラブでも利用料金が異なるクラブがあるので、一律料金に向け制度改正も含めて検討すべき。

「提案 8」の実現に向けて、私たちができること

私たち 市民

- ① 利用する際は料金を支払う（対価だから当然。サークル活動などの利用料は生活協同組合からサポートを受けることも一案）。
- ② 施設管理運営に係る収支差を少しでも縮めるため、積極的に施設を利用する（利用したことのない施設を利用してみる。利用する際はもちろん綺麗に）。
- ③ サークルや団体などの主催者側となって積極的に施設を活用する。
- ④ 行政のアンケートに対して「利用料を徴収すべき施設である」などの意見を出す。
- ⑤ 施設の掃除や除草など積極的にボランティアを実施して施設の価値を高める。
- ⑥ 自分の子どもが「受益者」でなく「納税者」の視点も持てるように伝えていく。

《提案 8 に関するその他の意見》

- ・子どもだけでなく、社会人も含めて「教育に係る団体」は減免対象とするべきではないか。
- ・減免対象はボランティアを実施した団体とすることも考えられる（年間ポイント制の導入など）。

9. 利用料の見直し以外にも、収入を増やす仕組みを考える

【提案内容】

提案8の受益者負担の見直しのほか、収入を増やす仕組みづくりも重要である。現時点において最も収入源となり得る施設は、君津市の象徴とも言える文化ホールであるが、今の文化ホールはワクワク感が少し欠けている印象がある。講演やイベント自体はとても魅力的だが、その前後や休憩中に施設内において飲食出来ないことが多いので、例えば、ソフトドリンクやアルコール、軽食などを提供できるような「常設カフェ」を設置するなどして、行くこと自体が楽しい施設を目指す。そうなれば日常的に人が集まることも期待でき、大きな収入源となる。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	文化ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつ来ても何か食べられる＝気軽に寄れる」の視点で常設カフェなどの設置を検討する（アルコールを提供する場合は、公共交通機関の整備も併せて検討する必要）。 ・常設販売店の設置を検討する（特産物や市のグッズを販売するなど）。 ・人が集まるイベントなどを積極的に企画していく（有名アーティストを呼ぶなど）。 ・出店団体（常設のイベントスペース、屋台 car による出店などを含む）を広く募集し、売り上げの一部を収めてもらう仕組みを考える。 ・主催団体以外の関連団体が販売する仕組みづくり。 ・君津市内の店舗が入れる仕組みがあると良い。 ・入札による自動販売機の設置も収益源となる。 ・ネーミングライツを導入して収益を図る。 ・入場者のワンドリンク制導入を検討する（例：500円）。 ・指定管理者の自主事業拡大（レストランや売店経営など）。 ・稼働率の低いスペースを有効活用する仕掛けを検討し、訪問者を増やす。
	スポーツ・公園施設	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食業の介入を緩和させることで、イベント時などの収益増を目指す。 ・利用の多い施設は回数券を発行して割引制度を導入させるなど、利用者数を増やす仕組みを検討することにより収益増を目指す。 ・ワクワク感のある公園施設整備（亀山湖畔公園のトイレ整備など）を行う。 ・パークコンセッションなどを含めて検討する。

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	公民館等	・敷地の一部を利用し、バザーなどを開催することや民間企業の誘致（カフェや学習塾など）によって収益化を図る（地域活性化にもつながるのでは）。

「提案9」の実現に向けて、私たちができること

私たち 市民

- ① 積極的に公共施設へ足を運び、経済をまわす。
- ② 人が集まる際のイベントをサポートする。
- ③ 市の公共施設（廃校などを含む）を借りて、フリーマーケットを実施する。
- ④ イベント時に飲食などを提供する店舗を出す。
- ⑤ 地域ぐるみの運営も出来そう（子ども食堂のようなもの）。
- ⑥ 自分の子どもが「受益者」でなく「納税者」の視点も持てるように伝えていく。

《提案9に関するその他の意見》

- ・行政だけでなく、市民がアイデアを出し、繰り返し開催できるイベントを作る。

10. 借地の見直し（単価の見直しや買取りなど）や無償貸付施設の見直し（譲渡や有償貸付など）について検討を行う

【提案内容】

公共施設には借地があることがわかった。施設をつくるには広い土地が必要となるし、当時の時代背景などもあってのことだと思うが、今回のプロジェクトをきっかけとして、借地料の単価の見直しや買取りへの転換を図るなど、経費削減の検討が必要である。

また、無償貸付をしている施設があると知った。大規模な改修は市の負担で行うことになっている。利用実態や今後の維持管理に要する経費によっては、貸付団体と協議しながら、有償または無償での譲渡や有償貸付をして収益化を図ることを検討していく必要がある。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般 (借地)	・今後、長期間（20年～30年）維持していく施設であれば、借地料を支払うより用地買収を実施する方が安くなる可能性が高い。長い目で見た場合は、用地買収を前提に今から検討しても遅くない。
	全般 (無償貸付施設)	・行政の役割が終了しているような施設は、有償または無償での譲渡の検討をする。 ・利用実態を踏まえながら有償貸付にすることで収益化を図る。
	文化ホール	・早急に用地買収をして、借地は無くした方が良い。 ・借地単価は値下げ交渉をするなど見直しが必要。
	市営住宅	・借地料の発生している施設は廃止の検討を行う。
	公民館等	・借地返還を前提にして、その地区の施設のあり方を検討する。 ・借地料の見直し交渉を継続して実施すべき。

「提案10」の実現に向けて、私たちができること

私たち
市民

- ① 無償貸付の施設を、地域で有償（ないしは無償）で施設を譲り受け、以降は地域で施設を維持管理する。

11. 指定管理者制度の本来の効果が発揮できるように工夫する。それに馴染まない施設は、指定管理から委託に切り替えることも検討する

【提案内容】

指定管理者制度の目的は、民間の力を活用して積極的に収益を生み出す施設管理運営を行い、結果として市民サービスを向上させることである。君津市は他市町村と比べ指定管理者制度を導入している施設が多いが、地元の方々に管理をお願いしているケースなどがあり、目的と少し異なった状態であることがわかった。指定管理者制度の効果をより高めるためには、指定管理者を広く公募するなど、民間のノウハウやアイデアを最大限活かせるような工夫が必要ではないか。併せて、それに馴染まない施設は、指定管理から単年度の管理委託に切り替える方が良いのではないか。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般 (指定管理)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者を広く公募するなど定期的に見直していく（長期間同じ団体が管理しているとマンネリ化してしまう傾向になり人件費も年々増加傾向になってしまう）。 公募方法の検討が必要（公募要領に年間利用者数の目標を入れるなど創意工夫を促してはどうか）。 指定管理者による管理運営の効果測定を検討する（内部だけでなく可能であれば外部の視点を入れて評価する体制が望ましい）。 予算の都合や最低限の維持の視点ではなく、まちづくり全体の観点を盛り込んでいく。 指定管理者にお任せでなく、市も思いを持って協働していく（指定先の適切なマネジメントを行うなど）。
	全般 (地域の独自性を出すことが必要な施設)	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に地元自治会へ施設の管理委託をしていく（地域市民が関わることで興味を持ってもらう）。 草刈り作業は地域の力を活用する（有償ボランティアなどによって地域の雇用の創出につながると高齢者の生きがいにもなる）。
	文化ホール	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度本来の効果が発揮できる最たる施設のため、積極的な見直しを図る。 首都圏の民間企業や団体などに参入してもらい、新しいノウハウを導入させる。

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	コミュニティ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理を行うことの必要性から考えた方が良い。 ・ 地域に任せるにも無償ボランティアとして頼るには限界があるので、お金が回る仕組みを検討する。 ・ 地元で管理しているなら、自治会と協力し年間計画をしっかりと立てた上で、それに見合った交付金を出す方が良い。コミュニティの活性化が図れるようにしていくべき。

「提案 11」の実現に向けて、私たちができること

私たち 市民

- ① 指定管理者の取り組みにより、利用したい、立ち寄りたい施設となっているか市民目線でチェックする。
- ② 地域の団体が指定管理者となっている場合は、コスト削減や市民サービスの向上に最大限努力、施設の価値を高めていく。

《提案 11 に関するその他の意見》

- ・ アイデアを持っている人は沢山いると思うので、そのような人たちに任せていくような仕組みづくりが出来ると良い。
- ・ 民間の力は万能とは言えないのではないか。民間の参入はメリットもあればデメリットもある。儲からなければ民間企業は参加してこない。指定管理は、どこまでの業務の質を確保する約束が出来るのかをしっかりと検討する必要がある。
- ・ 指定管理については、各施設の管理基準を明確にして、市のホームページ等で公表・評価できるようにする（マンネリがなくなり意識改革へつながる）。

提案

12. 利用実態をしっかりと把握した上で、利用状況や施設の魅力の有無などで分類し対策を行う

【提案内容】

それぞれの施設の現状を整理すると、①利用者は多いがさらに魅力を高められる施設（文化ホールや物産館など）、②利用者は少ないが魅力が伝えられていない施設（久留里城址資料館など）、③利用者が少なく、そもそもニーズに乏しい施設（一部のスポーツ広場など）の、大きく3つの特徴に分類できる。これらの特徴を踏まえて、それぞれの対策について検討していく。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般	・まずは利用実態など現状の把握をしっかりと行った上で、利用の少ない施設は廃止または別の用途にしたり、存続させるなら同様の施設との差別化を図り、アピールする策を取るなどの検討をしていく。
	文化ホール	・文化ホールは近隣市町村を見ても存在しないほど大きなスケールであり、催し物がある際は人も多く集まってくる施設だが、ワクワク感にやや欠けているのはもったいない。「博物館」や「産直販売」の要素を取り込む（文化ホール周辺への誘致も含めて）など、更なる充実を検討する。 ・道路交通法や近隣住民との調整など、様々な制約条件があるものの、駐車場の渋滞緩和は喫緊の課題であるので、解決に向けて更に検討していく。
	物産館	・あまり欲しいものが置いていない印象があるので、人を呼べるような商品を置いて市内外へアピールしていく。
	資料館	・歴史的にも重要な施設であるが、利用者が少ないことはもったいない。学校などを通じて教育面で更に活用（遠足、 課外授業 、 出前講座 など）したり、子どもが参加しやすいイベントを企画するなど、アピールをしていく。
	スポーツ・公園施設	・利用の少ないところは、休止や廃止について検討する。
	産業・観光施設	・利用の少ないところは廃止について検討する。

「提案 12」の実現に向けて、私たちができること

私たち 市民

- ① まずは施設に関心を持ち、実際に利用してみる（今回のまちづくりプロジェクトを通じて様々な施設を利用してみたいと思った）。
- ② 例えば、利用者が施設の環境整備（草刈りなど）をするなど、魅力を高めるため私たち市民が出来ることも沢山あるので、できることを探してみる。
- ③ 地域の子どもたちに地元の歴史を伝えるなど、魅力について発信する。
- ④ 地域の行事などで積極的に施設を利用する。

主たるターゲットを最優先に考えた施設運営を考える（公園の主たるターゲットである子どもたちがさらに気軽に遊べる場所を増やしたり、ボールを使いやすくするなど）

【提案内容】

「気軽に遊べる」とは「自力で移動できて無料で遊べること」である。その意味で、「気軽に行ける子どもの遊び場」は足りていないように感じる。近くに公園があったとしても、ボール遊びが禁止されていて、子どもたちが気軽にスポーツに触れられない環境にある。子どもたちを主眼においた遊び場のあり方を検討していく必要がある。このような、主たるターゲットを最優先に考えた施設運営は、他の施設においても同様に重要な視点となる。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	学校の体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・市の体育館は数少ないため、学校の体育館が貴重になるが、実態としては学校施設の利用団体が固定化されている。利用をやめる団体が出てこない限り学校体育館を借りることができない。例えば、月曜は卓球、火曜はバレーボール、水曜はバスケットボールなど曜日により種目を分け、やりたい人が参加出来るような仕組みづくりが必要だと考える。
	スポーツ・公園施設	<ul style="list-style-type: none"> ・大型遊具を設置したり駐車場を増やすなど、子どもの遊び場を増やしていく。 ・スポーツ広場の一区画に小児も遊べる遊具の設置を検討する。 ・公園のマップを作成して配布する（場所や写真など）。 ・子どもに加えて高齢者もターゲットとした公園を検討する（子どもたちと共に体を鍛え、運動出来る場づくり）。 ・雪の多い地方の学生（高校野球やサッカーなど）をターゲットとして、合宿先として展開する施設について考える。
	資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者をつなげる仕掛け（高齢者が子どもを育て、教育できる場づくりなど）について検討する。
	障害者施設	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所が無く困っている障害者が居るので、その方々のためにも障害者施設を増やすことを検討する（空き教室などの空いている場所を活用できないか）。

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	公民館等	・公民館には軽スポーツが出来る場所があるので、この場所を活用して放課後に気軽に利用できる仕組みを考える。
	保育園	・利用者のことを考えて、もっと早い時間から預けられるようにすることを検討する。 ・一時預かり保育のサービスをさらに充実させていく。
	産業・観光施設	・観光客向けの施設であっても地元の人が気軽に行ける施設にしていく（市民が親しむ施設を観光資源とすることが理想的で、地元で愛されている場所は訪れてみて楽しい。観光客を地域の人達で歓迎してあげるようなイメージ）。

「提案 13」の実現に向けて、私たちができること

- 私たち市民**
- ① 子どもたちの見守りを行うため、積極的に遊び場へ行く。
 - ② 子どもたちの遊び場の草刈りなど維持管理のボランティアを行う。

《提案 13 に関するその他の意見》

- ・上総、小櫃、清和、小糸のどこかに君津中央公園のような施設を設置出来ないか。
- ・子どもたちのことを地域で考える仕組みをつくる。

提案

類似施設の担当課が異なっていることによって非効率になっていたり、管理運営にかかる人件費の比率が高くなっている現状を変えるために仕組みを見直す

【提案内容】

例えば、内みのわ運動公園は公園緑地課が管理しているが、内みのわ運動公園はスポーツ目的での利用が多いため、体育振興課が管理するスポーツ広場などと一体的に考える方がシンプルかつ効率的である。また、施設の管理運営にかかる支出のうち人件費は約 60%を占めている（毎年度の施設の修繕費が少ないため結果的に比率が高くなっている可能性もある）。担当課の一本化もしくは関係する課の定期的な協議や職員配置の見直しなど市役所内部の仕組みを変えることが重要である（管理運営にかかる人件費の全体像の把握も必要）。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課の一本化は予約窓口の一本化にもつながると思うので、組織改正を進める。 ・施設管理の担当課を一本化しつつ、指定管理についても広域的に一本化することにより作業の効率化を図る。 ・窓口を一本化などによる人件費抑制の検討。 ・職員を配置しなくても良い施設になるようにしていく。 ・行政の縦割りによって人件費に重複があるように感じるので、縦割りをなくすことを目指す（市民にとっては、公民館、行政センター、図書館分室、コミュニティセンターは同じような施設）。
	公民館等 コミュニティ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ施設に係る市役所内の部署全体を一緒にすることを検討する（コミュニティセンターは、公民館の分館としても存在しているので担当課は同じ方が効率的ではないか）。

《提案 14 に関するその他の意見》

- ・担当課が縦割りのため、その利活用について全体的な検討が実施出来ていないので、担当課の一本化以外の選択肢として、縦割りに寄らない「利活用担当」をつくることも考えられる。

提案

15. ウェブ予約など施設を使いやすくするための工夫を行う

【提案内容】

現在、君津市の公共施設はすべて来訪や電話による予約受付になっており、それが施設利用のハードルになっているという意見が複数あった。利用団体が固定化している要因にもなっていると考えられる。ウェブ予約システムを導入することで予約はしやすくなり、新規の利用者が増える可能性がある。さらには利用料金の支払いや各施設の利用状況の閲覧などもウェブで可能になるとさらに使いやすくなる。なお、本システムの導入は一定の初期費用が掛かると思うが、長期的に見れば職員の人件費の削減も期待できる。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名	具体的な方策（例）
行政	全般	・利用者視点でウェブ利用予約システムを導入する（時間の制約なく予約ができるなど）。
	公民館等	・各公民館の空き部屋状況やサークル活動状況などをオンライン上で一括検索でき、かつ、同時に利用申請やサークル参加申請も出来るようなシステムの提供を検討する。
	行政施設	・電子申請を導入することで、利便性が向上するのでは。 ・電子申請の導入など IT 化を進めることで人件費も抑える。
	図書館	・受付の AI サポートを含めて検討する。

「提案 15」の実現に向けて、私たちができること

私たち 市民

- ① 新しい予約方法が構築された時には、それを積極的に活用する

提案

16. 市外への PR も重要だが、市民に対しての情報発信にも力を入れる

【提案内容】

君津市外に向けた PR はもちろん重要であるが、そもそも、わたしたち自身が自分たちのまちのことをあまり知らないかもしれない。今回の君津まちづくりプロジェクトを通じて、これほど多くの施設があることを知ったし、行ってみたいと思う施設もあった。これらの「気づき」を一人でも多くの市民に得てもらえるよう、市民に対しての情報発信に注力することが重要である（わたしたち自身が発信源となることも目指す）。

～提案内容の具体的な方策（例）～

主体	施設区分名等	具体的な方策（例）
行政	全般 (市民に向けた 情報発信)	<ul style="list-style-type: none"> ・君津市の各地区には様々な特徴があるため、これを活かしつつ、市民が興味を持てる PR 方法を検討する。 ・小学校3年生の社会の授業の市内巡りに、公共施設を盛り込んでみる。 ・HP が市民にとってわかりづらいのでリニューアルする。 ・公共施設マップを作成し、それぞれの公共施設に置く。 ・口コミや SNS を活用する。 ・市民は木更津イオンや木更津アウトレットに行くことが多いので、そこで PR する。 ・軽食やランチが出来るところで積極的に情報発信する。
	全般 (市外への PR)	<ul style="list-style-type: none"> ・君津の魅力を明確にした上で、メディアに働きかける。 ・市外の集客施設（海ほたるなど）に人を置いて PR する。 ・マザー牧場や鴨川シーワールドへの観光客が宿泊する大江戸温泉物語君津の森で君津の魅力を発信していく。
	スポーツ・ 公園施設	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏にはスポーツ広場が少なく、君津市はアクセスが良いので首都圏在住者をターゲットにする。
	公民館等	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地の公民館の利用者数を上げるため、公民館で実施されているイベント情報を HP にて頻繁に発信していく。 ・公民館担当者が、施設の役割や運営状況などを広報誌や HP を活用して地道に市民へ知らせていく（地域もサポートする）。
	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の中に分室があることや、図書のインターネット予約ができることを知らなかったため、利用率を上げるために PR を強化する。

「提案 16」の実現に向けて、私たちができること

私たち 市民

- ① 色々な施設に行ってみる。
- ② 自ら情報収集していく。
- ③ 自分の知っている情報を積極的に発信していく（SNS 等）。

《提案 16 に関するその他の意見》

- ・J:COM と協定を結び、「わっしょい！木更津」のような番組を制作する。

3. 公共施設以外に関する3つの課題

君津まちづくりプロジェクトを通じて、今後議論していかなければならない公共施設以外に関する3つの課題が見えてきましたので、以下のとおりまとめます。

今後の議論のたたき台としてご活用いただければ幸いです。

1. 「これからの働き方を踏まえた就労支援」を行う

人口減少の要因として「若者が働きたいと思う仕事をする環境がないからではないか」という意見が出た。市内には日本製鉄があるものの、市内の若者の多くが就職しているわけではない。

働き方が時代と共に変わってきているため、若者のニーズを把握し、ニーズに沿った企業の誘致や、気軽に起業できるような事業を行う必要があるのではないかと。

<方策（例）>

- ・公共用地の貸付に優遇措置を設け、若者に魅力のある企業（大規模集客施設）の誘致を行う必要があるのではないかと。
- ・市民が起業しやすい制度を設けてはどうか。
- ・働き口の斡旋を行ってはどうか。

2. 市域一律ではなく、「地域単位で交通の課題とその対応策を検討」する

君津市は面積が広いが、人口は君津地域に集中している。人口が少ない地域は年配者が多く、公共交通も少ない。その結果、新たな住民が増えず人口減少が続いているのが現状ではないかと。

そのため、市域一律で対応を考えるのではなく、日常生活に支障をきたしている地区を優先し、地域の実態に沿った対策が必要となるのではないかと。

<方策（例）>

- ・清和地域などの人口が減少している地域の公共交通対策を優先して実施してはどうか。
- ・コミュニティバスの運行を増やしてはどうか。（①各地区⇒君津駅 / ②各地区⇒君津駅&木更津駅）

3. 「君津の目玉・魅力は何か」を改めて考える

住民協議会で「君津の売りは何か」を考える場面があった。豊かな自然や小糸在来をはじめとした農産物、久留里の水という意見が出たが、意見の出ない人もいた。君津は住みやすい場所とは考えているけれど、いざ魅力を他市、他県へPRしようとする、すぐに答えが出ない人が多いかもしれない。私たち自身が改めて、君津の魅力の掘り起こしをして実感できれば、「君津の目玉」として、その魅力が市外の人にも伝わるだろう。「君津の目玉・魅力は何か」をみんなで考える機会をつくる必要がある。

<方策（例）>

- ・君津には、無農薬野菜や不純物の入らない水のタンクを作るなど多彩なことを行っている人が沢山いる。その人たちを繋げるネットワークが出来たらもっとさらなる魅力が見つかるのではないかと。
- ・「君津の魅力再発見プロジェクト」のようなことを始める。